

単元のゴール

・病気の起こり方とその予防の方法、地域の保健活動について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。（知識・理解）
 ・病気の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（関心・意欲・態度）
 ・病気の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に判断し、それらを表そうとしている。（思考・判断）

単元に係る児童の実態（知識）

児童は5年生の時に、保健の授業で「心の健康」や「けがの防止」について学習している。「心の健康」では、心と体が深く影響していること、「けがの防止」では、人の行動やまわりの環境が関わり合っていることについて、教科書やワークシートを活用して、授業に取り組んでいた。

単元に係る児童の実態（態度）

保健の授業は好きですか。

好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない
5人	7人	14人	4人

自分から進んで発表することは好きですか。

好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない
8人	8人	7人	7人

多くの児童は保健の授業をあまり好きではないと感じている。特に、「あまり好きでない」「好きではない」と答えた児童の中には、「授業を聞いているだけだから、面白くない。」という児童が数名いた。

単元に係る児童の実態（思考・判断）

児童は5年生の時に、保健の授業で「心の健康」や「けがの防止」について、教科書や資料を基に課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明してきている。しかし、進級後、他教科において、同様の活動を行っても、説明等で具体的に記述できる児童は少なかった。

単元のゴール（知識）

・病気の起こり方について理解したことを言ったり、書いたりしている。
 ・病原体がもとになって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。
 ・生活習慣がかかわって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。
 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解したことを言ったり、書いたりしている。
 ・地域の様々な保健活動の取組について理解したことを言ったり、書いたりしている。

単元のゴール（態度）

・病気の予防について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。
 ・病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。

単元のゴール（思考・判断）

・病気の予防について、教科書や調べたことをもとに、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどそれらを説明している。
 ・病気の予防について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見つけたりするなどして、それらを説明している。

教師の指導観（知識）

「知識構成型ジグソー法」による学習を行うことにより、病気の予防に対する児童一人一人の意識を高め、学級での出席率を高めていきたいと考える。学んだ知識を実生活に結び付けられるように、効果的な連携を通して、実践的な理解を深められるようにしていく。

教師の指導観（態度）

保健学習が好きではない理由に、「話を聞いているだけでつまらない。」とあった。そこで、指導方法を工夫し、「知識構成型ジグソー法」による学習を行っていく。児童が主体的に保健学習に取り組みながら、健康・安全に関する知識を深め合わせ、正しく習得させることをねらいとしていく。

教師の指導観（思考・判断）

効果的な資料等の用意や作成をし、児童の思考の手助けとなるようにする。

授業のねらいと指導内容及び願う子供の姿

時	◎授業のねらい ○指導内容	◆各時間終了後の願う子供の姿
①	◎病気はどのようにして起こるのだろうか？【本時】 ○病気の原因	◆病気の原因は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境の4つに分けられることを理解している。
2	◎病原体はどのようにして体の中に入ってくるのだろうか？ ○感染症の予防	◆病原体がもとになって起こる病気の感染経路を理解し、その予防法を理解している。
3	◎生活習慣病①を予防するにはどうしたらよいのだろうか？ ○生活習慣病①の予防	◆予防には、食事、睡眠、運動、休養に気を配り、健康的な生活習慣を身に付ける必要があることを理解している。
4	◎生活習慣病②を予防するにはどうしたらよいのだろうか？ ○生活習慣病②の予防	◆予防には、口腔の衛生を保ち、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることを理解している。
5	◎たばこを吸うと、健康にどんな害があるのでしょうか？ ○喫煙が健康に及ぼす害	◆たばこの害と健康との関係について、今後自分の取るべき行動を考えている。
6	◎飲酒をすると、健康にどんな害があるのでしょうか？ ○飲酒が健康に及ぼす害	◆飲酒の害を知り、今後の生活で飲酒につながる行動をとらない意志をもつことができるようにする。
7	◎薬物乱用をすると、健康にどんな害があるのでしょうか？ ○薬物乱用の害と健康	◆薬を正しく使うとともに、シンナーなどの薬物乱用は心や体の健康に大きな害を及ぼすことを理解している。
8	◎身近な地域では、病気の予防のために、どんな活動が行われているのだろうか？ ○地域の保健活動	◆地域では、様々な保健活動が実施されており、人々の健康はそれらの活動によって、支えられていることを理解している。

板書計画

（課題）
病気はどのようにして起こるのだろうか。

（まとめ）
病気は、病原体、体の免疫力、生活行動、環境などが関わり合って起こる。

【学習の流れ】

- ・エキスパート学習
- ・ジグソー学習
- ・クロストーク

班毎の発表を掲示する。

これまでの学習
<p>これまでの保健学習において、以下の内容について学習してきた。</p> <p>3年生での学習</p> <p>【毎日の生活と健康】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の状態 2. 毎日を健康に過ごす <p>4年生での学習</p> <p>【体の発育・発達】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体の発育・発達 2. 思春期の体の変化 3. 体をよりよく発育・発達させるための生活 <p>5年生の学習</p> <p>【心の健康・けがの防止】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心の発達 2. 心と体の相互の影響 3. 不安や悩みへの対処 4. 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止 5. けがの手当

一人一人を伸ばす
上位層、下位層に向けて

【上位層に向けての手立て】
話し合いの際、自分の言葉で、わかりやすく、グループの友達に説明できるように助言する。

【下位層に向けての手立て】
話し合いの際、友達の話をよく聞き、聞いたことをそのままグループの友達に伝えられるように助言する。

本時の目標 病気の起こり方について理解したことを言ったり、書いたりすることができる。【知識・理解】	
段階	学習活動
1	<p>本時の課題を知る。</p> <p>①病気はどのようにして起こるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習前の自分の考えを書く。 ・本時の活動の流れを知る。
2	<p>「エキスパート学習」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自配付された資料から、内容を読み取る。 ・同じグループごとに資料の内容について話し合い、ジグソー学習の際に友達に説明できるようにする。
3	<p>「ジグソー学習」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート学習で理解した資料の内容をグループの友達に説明する。 ・グループで課題に対する答えを考え、まとめる。
4	<p>「クロストーク」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめた考えを学級全体で発表し、聞き合う。
5	<p>まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で本時の課題に対する答えをもう一度考え、書く。 <p>病気は、病原体、体のていこう力、生活行動、環境などが関わり合って起こる。</p>
指導上の留意点 (○指導◆評価規準)	
<p>○どんな病気があるのか、知っていることについて発表させ、病気についてのイメージをもたせるようにする。</p> <p>○児童の考えを引き出しながら、課題にせまられるようにする。</p> <p>○学習の流れを簡単に説明する。</p> <p>○A～D4種類の資料を用意し、各グループに配付する。</p> <p>○エキスパート学習では、次の学習(ジグソー学習)の際、児童一人グループの友達に責任をもって伝えるということを確認する。</p> <p>○机間指導を行い、どうまとめでいいかわからないグループには、個別に声がけをする。</p> <p>○話し合い活動の時間を確認し、その時間内でまとめることを確認する。</p> <p>○4つのエキスパート学習の資料を組み合わせ、課題に対する答えを出すように確認する。</p> <p>○各グループでまとめた答えを、掲示用プリントに書かせる。</p> <p>○早く終わったグループには、次の学習(クロストーク)の際、発表できるように準備をさせる。</p> <p>○全部のグループの発表ではなく、いくつかのグループに発表させる。</p> <p>○学習前と、学習後の考えを書いたものを比べることで学習の深まりを味わわせるようにする。</p> <p>◆病気の起こり方について理解したことを言ったり、書いたりすることができる。【知識・理解】</p>	

今後の展開
<p>2時間目 病原体がもとになって起こる病気の感染経路を理解し、その予防法を理解する。</p> <p>3時間目 予防には、食事、睡眠、運動、休養に気を配り、健康的な生活習慣を身に付ける必要があることを理解する。</p> <p>4時間目 予防には、口腔の衛生を保ち、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることを理解する。</p> <p>5時間目 たばこの害と健康との関係について、今後自分の取るべき行動を考えている。</p> <p>6時間目 飲酒の害を知り、今後の生活で飲酒につながる行動をとらない意志をもつことができる。</p> <p>7時間目 薬を正しく使うとともに、シンナーなどの薬物乱用は心や体の健康に大きな害を及ぼすことを理解する。</p> <p>8時間目 地域では、様々な保健活動が実施されており、人々の健康はそれらの活動によって、支えられていることを理解する。</p> <p>【中学校との接続】 中学校の保健で学習する内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 ・健康と環境 ・心身の健康の発達と心の健康 ・傷害の防止

主体的学び
<p>指導にあたっては、平成30年度の埼玉県小学校教育課程編成要領の(9)体育における指導計画作成のポイントを踏まえ、指導方法を工夫し、「知識構成型ジグソー法」による学習を行っていく。児童が主体的に保健学習に取り組みながら、健康・安全に関する知識を深め合わせ、正しく習得させることをねらいとする。</p>
対話的学び
<p>「知識構成型ジグソー法」による学習を行い、エキスパート学習・ジグソー学習・クロストークと段階的に学習できる環境を用意する。自分の考えを、同じ資料をもった友達と共有したり、違う資料をもった同じグループの友達に伝えたりすることで、対話的な学びの質を高められるようにする。</p>

深い学び
<p>主体的・対話的学びにより、病気の予防に対する児童一人一人の意識を高め、学級での1か月における出席率を高めるようにする。学んだ知識を実生活に結び付けられるように、効果的な連携を通しながら、実践的な理解を深められるようにする。</p>

願う子供の姿
<ul style="list-style-type: none"> ・病気の起こり方とその予防の方法、地域の保健活動について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する姿。 ・病気の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとする姿。 ・病気の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、実践的に判断し、それらを表そうとする姿。